

| 学校教育目標  |   | 総合評価  |
|---|---|---|
| 人間尊重の精神に徹し、自ら考える力と、創造的な知性、及び実践力を養い、調和のとれた人間の育成を旨とす。<br>『自主・自律の精神に徹する』<br>『真摯な態度で自己目標の実現に努める』  |   | ・コース制、ひろがれわたし、高大連携事業や学習成果発表会などさまざまな学習活動について、学校関係者から高い評価をいただいている。生徒自ら考える姿勢が見られるようになった。探究的な学びを推し進め、自信を持って意欲的に行動できるよう一層のサポートしていきたい。<br>・広報活動を充実させ、本校の魅力をさらに発信していき、保護者・学校関係者・地域の方々の信頼をさらに高めていきたい。 |
| 中長期的目標  |   |   |
| 学校教育目標に則り、地域から信頼され、地域に貢献できる人材の育成を目指す。<br>1 地域に開かれた学校づくりを進め、地域の信頼を高める。<br>2 自らが学ぶ学校を誇りとし、自己目標の実現に向かい主体的に取り組む生徒を育成する。<br>3 全人教育を進め、クラブ活動など生徒の自主活動をさらに活性化することを目指す。 |   |   |
| 今年の重点目標   | 成果と課題   | 次年度にむけての改善策・向上策   |
| 1 生徒一人ひとりが自己を見つめ、力を発揮できる学校づくり<br>2 学ぶ楽しさを実感し進路の希望を実現できる学校づくり<br>3 いじめや体罰のない、安全・安心な学校づくり<br>4 生徒の人権を尊重し、保護者・地域に信頼される学校づくり  | 生徒は落ち着いた学校生活を送っており、学習に向かう姿勢が年々高まってきている。一方で、進路に向けての意識が十分に高まっているとはいえない。地域交流は昨年度よりも多くの活動・参加があった。 | 進路に向けて、生徒の日々の活動が評価されるようになってくるので、早いうちから進路意識を高め、学校生活を大切に送れるよう指導していきたい。  |

《教育活動領域》

| 対象            | 対応重点項目      | 評価項目                         | 評価の観点   | 成果と課題   | 次年度にむけての改善策・向上策   |
|---------------|-------------|------------------------------|---|---|---|
| 教育課程<br>・学習指導 | 1<br>2      | 教養フロンティアコースの取り組み             | ・学年と進路係、教育課程委員会が連携をとりながら、生徒ひとりひとりに進路実現に向けた系・講座の選択をさせる指導を行い、系別講座編成に対してスムーズな編成と工夫ができたか。<br><br>・信州豊南短期大学との高大連携事業において、関係する分掌・教科で連携した計画・業務遂行をスムーズに行い、内容をより充実させることができたか。 | ・学年と進路指導係が主導して、進路講話等の実施により生徒の進路意識の形成を図った。また教育課程委員会が中心となって、各学年の情報を活用しながら、系・講座の選択、系別講座編成を行うことができた。また、現行の教育課程における開設講座の移動・追加について、教育課程委員会での見直しを図っているが、継続して取り組んでいく必要がある。                            | ・大学入試制度改革や次期学習指導要領の改訂に伴う、新たな教育課程の編成に向けた準備のために、各委員会・教科等で連携して着手していく必要がある。   |
|               |             | 健康スポーツコースの取り組み               | ・コースの特色を活かした進路実現を行える少人数講座や授業内容の工夫ができたか。<br><br>・松本大学との高大連携事業において、関係する分掌・教科で連携した計画・業務遂行をスムーズに行い、内容をより充実させることができたか。   | ・2年生の健康スポーツコースの生徒人数は多いが、体育科を中心にスポーツや基礎福祉の授業において、ニュースポーツや施設実習等、進路に関わる側面を提示して、コースの特色と進路実現に関わりを持たせることができた。<br><br>・松本大学との高大連携事業は順調に立案・計画・実行することができた。   | ・教科において今後も内容の充実に向けて継続した取り組みを行うとともに、コースの特色と進路実現の方向性が連関する指導のあり方を検討していく必要がある。<br><br>・高大連携事業以外にも、1・2年次におけるコースの特色を持った事業を検討していくことが求められる。   |
|               | 1<br>2<br>4 | 授業の改善と工夫                     | ・「丁寧でわかりやすい授業」を目指し、生徒の学習意欲を喚起できるような授業内容の工夫を行うことができたか。<br><br>・教師間の授業公開・研修を通して、授業改善に向けた努力ができたか。<br><br>・各学年・各クラス・各講座等での情報交換を行うことで生徒理解を深め、個々の授業展開を考える契機にすることができたか。    | ・教員個々に工夫を凝らし、わかりやすい授業を心がけている。ICTを用いた授業などにより生徒の学習意欲向上に努め、繰り返しの小テスト・ドリル等により、学習内容の定着をはかり、生徒の学習意欲向上に向けた取り組みを行った。<br><br>・公開授業等を利用しながら教員間の授業見学や意見交換等を積極的に行えるよう、連絡・一言カードの準備等を実施した。                  | ・教員の個々の取り組みに任せるのではなく、全職員が改善と工夫の意識を高められるよう全体的な協議を深める必要があるとともに、今後求められる「探究的な学び」に関する研修等を実施する必要がある。<br><br>・公開授業時だけでなく、普段の授業の中でも授業見学等が積極的になされるよう教員間の相互研修を促していく必要がある。<br><br>・生徒の情報共有を活用しながら、学年と教科で連携を取って生徒理解に努めた授業を行えるようにしていきたい。 |
|               |             | 基礎学力の補充と進学希望者の進学意欲を向上させる取り組み | ・進路・学習係の取り組みを中心に、本校の生徒の状況を理解して、基礎学力の補充について具体的に取り組むことができたか。<br><br>・特に進学希望者に対して、進学補習を活用して進学意欲の向上を図ることができたか。  | ・進路実現に向けた小論文対策、面接指導を行うとともに、考査前や保護者懇談会も午後の時間を活用した学力補充の補習を実施できた。<br><br>・各学年・進路係が中心となって木曜7限補習を実施するとともに、就職者向けや複数教科希望の生徒にも対応できるよう対象と範囲を広げることができた。他方、学力補充のための補習を定期的にも実施できるような機会を設けていくことも不可欠となっている。 | ・入学後の学力向上に向けて、学びなおし等による学力補充の機会と進路を見据えた継続的な学習意識の涵養を図っていく必要がある。<br><br>・進学希望者への補習への恒常的な参加を促すと同時に、受験時期における特編授業等による学習対応を検討する必要がある。  |

| 対象     | 対応重点項目      | 評価項目                                      | 評価の観点   | 成果と課題  | 次年度にむけての改善策・向上策   |
|--------|-------------|---|---|--|---|
| 進路指導   | 1<br>2<br>4 | 進路意識の涵養                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる活動が進路学習に繋がるよう、そのための手立てを講じたか。</li> <li>保護者懇談会、学年PTA、進路だより等を活用し、保護者との連携が図れたか。</li> <li>進路指導室を生徒が有効活用できる場として整備できたか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初に先を見通して総合学習やLHRの計画を立てているため、系統立てた指導につながっていると思う。ただし、毎年見直しは必要である。</li> <li>懇談会では各学年の資料のほかに、進路指導室からも資料を提供し、保護者との情報の共有に努めた。</li> <li>進路室の整理整頓を心がけ、この1年間で使いやすくなった。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>1, 2学年の生徒の進路意識を高めていくことが課題である。早め早めの方策を立てていくことが大切である。</li> <li>保護者に提供する資料が最新のものになるように心がけたい。</li> <li>資料の取り出しやすさから考えて、資料入れを現在の引き出し式から、本棚式に変えることが急がれる。</li> </ul>                        |
|        |             | キャリア教育を軸にした総合的な学習の時間の在り方及び新たに導入する職業調べについて | <ul style="list-style-type: none"> <li>「職業調べ学習」や「ひろがれわたし」が生徒の進路意識を高めることや職業理解を高めることにつながったか。</li> <li>3学年の「総合的な学習の時間」が、生徒の進路実現に向けて効果的な形で運営されたか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>職業調べ、「ひろがれわたし」については、発表の場を設け、調べるだけに留まらない事後指導ができた。</li> <li>「ひろがれわたし」では、一部の生徒に趣旨が十分に伝わらなかった。</li> <li>3学年の「総合的な学習」について、毎週の学年会で進捗状況や次時の予定などを確認しながら効率的に運営できた。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>「ひろがれわたし」では、職業観の育成を含めた十分な事前指導が必要である。ハローワークや商工会議所などの公的機関とも連携していきたい。</li> <li>内定後、合格後の生徒の指導が困難な状態である。他校の例も参考にしながら、有意義な時間を過ごせるようにすべきである。</li> </ul>                                     |
|        |             | 進路実現に向けた入試・就職試験への対応                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>各学年における進学希望者及び就職希望者への補習や模擬試験が、適切な時期に効果的な内容で行えたか。</li> <li>小論文、面接対策が十分になされたか。</li> <li>必要に応じ、個別指導がなされる体制を整えることができたか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>希望者補習、センター補習とも、計画的に行ってきた。</li> <li>3学年の生徒について、小論文・面接対策は生徒によって個人差はあったと思うが、全体的に見ると取り組みは良好であった。放課後は進路室や研究室をまわって指導を受けている生徒が大勢いた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>補習については、回数・時間数を増加させて進学者のニーズに応えたいが、教職員の日常の業務を考えるとなかなか難しい。また、生徒会活動や部活動との折り合いがつかずに苦しんでいる生徒が見られるので、学校全体で考えるべきである。</li> <li>小論文指導・面接指導とも、特定の職員のもとに生徒が集中する事があるため、標準化できる方法を考えたい。</li> </ul> |
| 生徒指導   | 1<br>3<br>4 | 対話の重視による生徒理解と家庭との連携                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒との対話が的確にされているか。また、様々な方法によって注意喚起等が十分に行われているか。</li> <li>ガイドラインの周知や生徒への指導について、保護者の理解や協力は得られたか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導に当たっては普段の声掛けや事情の聴き取り等を丁寧に行い、対話する中で生徒を理解するように努めた。</li> <li>生徒指導通信「まごころ」により必要な事項の周知等を行い、家庭との連携がとれるようにした。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導における「対話と説得」の基本的精神は次年度以降も維持したい。</li> </ul>  |
|        |             | 学習習慣・学習環境の整備と確立                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>本校の「学習規律」や学習習慣・環境を整える為の指導は的確にできたか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習規律」の定着によって授業環境に大きな問題は無くなっている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「学習規律」の定着を推進し、さらに学習環境を充実させる。</li> </ul>  |
|        |             | 身だしなみ等、校内規則に対する規範意識の醸成と確立                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみや校内の規則について、職員全体が統一した意識で指導することができたか。</li> <li>いじめのない学校作りができていないか。</li> <li>自転車事故や盗難等、生徒にかかわる事例に対して効果的な指導はできたか。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみについては指導に差が生じないよう情報を職員間で共有し、各学年での検査や呼びかけによって違反者は減少している。</li> <li>軽微な友人関係の悪化等はあったが、「いじめ」として認知したものは無かった。</li> <li>自転車事故は1年生で多く発生したが昨年よりは減少した。また、盗難も数件あったが、昨年と比べると減少した。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>事故や盗難等は気を緩めることなく恒常的な注意喚起が必要である。</li> <li>引き続き学年や職員によって差がないよう、統一した指導ができる体制を整えたい。</li> </ul>   |
| 特別支援教育 | 1<br>2      | 特別支援教育の確立                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>教員間の生徒情報共有の策が定着し、必要に応じた早期対応ができたか。</li> <li>対象生徒への適切な支援が行えたか。</li> <li>学校、家庭、医療機関、地域の支援センターなどと連携し支援を進めることができたか。</li> <li>職員研修を行い、合理的配慮の合意形成を図る手立てを知り、支援について体制づくり等に役立てたか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>職員研修ではロールプレイなどの実施的で実習的な研修を行うことができた。</li> <li>生徒情報を共有できるファイル「日常を共有」Excelをもっと有効活用できるようにしていきたい。</li> <li>新規支援の際の見極めや継続検討の際にも、職員間での情報共有をさらに円滑にできるよう教科担当者会を有効に活用したい。</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒情報を共有できるファイル「日常を共有」Excelの活用について検討する。</li> <li>生徒の成長を把握するための「実施把握のためのチェックシート」回答を教科担当の依頼し変化を追う。</li> </ul>   |

| 対象  | 対応重点項目 | 評価項目        | 評価の観点  | 成果と課題  | 次年度にむけての改善策・向上策  |
|-----|--------|-------------|--|--|--|
| 生徒会 | 1      | 生徒の主体的活動の促進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度生徒会スローガンに基づき、各組織が能動的な活動を展開できたか。</li> <li>・文化祭において生徒が主体的に計画・運営し、職員が適切な助言・指導を行えたか。</li> <li>・クラブ活動の活性化をめざし、心身の成長を育むクラブ活動が行えたか。</li> <li>・PTS協議会および全校PTSの企画・運営を通じ、生徒の成長を促すことができたか。</li> <li>・社会貢献に繋がる活動としてエコマネージメントへの取り組みを進めることができたか。</li> <li>・A. O. H. S. (アライアンス・岡谷・ハイスクール)の員として、岡谷3校の生徒会と連携した活動ができたか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持って能動的に計画実行する力が身についた。今後は、委員会間の連携を通して包括的な活動に発展させていきたい。</li> <li>・目標に向けて多くのアイデアを実現することができた。職員からも細やかなサポートをいただけた。文化祭期間中の身だしなみが今後の課題である。</li> <li>・運動部、文化部とともに日常活動の充実を図るとともに、大会などで成果を上げている。</li> <li>・全校PTSはテーマが重すぎ、討論にならずに意見交換で終わってしまった。しかし意義のある全校PTSであった。今後は討論の柱の妥当な絞り込みが課題である。</li> <li>・継続してエコキャップ回収活動を行うことができた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から委員会間の情報交換、協力体制を築く。</li> <li>・身だしなみについては、役員生徒の意識向上を図るとともに、職員からも積極的に指導していただけるよう依頼してゆく。</li> <li>・活性化にむけた努力をさらに促すためにも、妥当なクラブ監査を行う。</li> <li>・討論の柱について、事務局の中立性を堅持し、P,Tの意向を十分にくみ取れるよう配慮する。</li> </ul> |
|     |        | 1<br>4      | 地域交流・ボランティア活動の奨励   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・花田養護学校との交流を充実させることができたか。</li> <li>・地域交流と各種ボランティアの奨励と活動の充実ができたか。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・花田養護学校との交流においては、良好に交流を深めている。参加人数の増員が今後の課題である。</li> <li>・地域の子どもたちと触れ合う、良い経験を積むことができた。</li> <li>・諏訪湖周清掃、赤い羽根共同募金など、岡谷市や地域の各種団体と連携して活動できた。</li> </ul>   |

《学校運営領域》

| 対象   | 対応重点項目      | 評価項目                    | 評価の観点   | 成果と課題  | 次年度にむけての改善策・向上策   |
|------|-------------|-------------------------|---|--|---|
| 学校運営 | 1<br>2      | わかる授業実践のためのスキルアップへの取り組み | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員一人ひとりが、研修や授業参観をもとに意見交換を行い、授業内容の改善や自己のスキルアップを図る取り組みができたか。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育や人権教育についての職員研修を実施し、教員としての資質向上に努めた。また、教員相互の授業参観を公開授業の期間にあわせて実施したが、一層の努力が必要である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領に向けて授業改善を行うとともに、新たな仕組みに対応できるよう一層の研修を重ねていくようにする。</li> </ul> |
|      |             | 4                       | 東高の魅力発信への取り組み   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の魅力について、ホームページやメール等を通じて、地域や保護者に向けての情報発信および広報を積極的に行うことができたか。</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイトの更新、メール(保護者へのメール配信)は、いずれも月に3回ペースで情報発信ができた。</li> </ul>       |
|      | 1<br>2<br>4 | 安全管理体制の確立と徹底            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的な安全管理に心がけるとともに、生徒、職員の意識向上を促すことができたか。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒非通知の防災訓練を2回実施したり、緊急時の対応マニュアルの更新を行った。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・不審者対応の訓練も計画したい。</li> </ul>  |